

**知的財産戦略本部検証・評価・企画委員会
(産業財権分野・コンテツ分野合同会合 (第5回))**

1. データ利活用促進

(1) 知財計画 2018 に掲載の主な関連施策

- ・ 「データの利用権限に関する契約ガイドライン ver1.0」を全面改訂し、データに関する契約の深掘りのほか、新たに AI の開発・利用を巡る契約の考え方について整理を行う。また、改訂されたガイドラインについて、契約当事者間での活用についてはデータ・AI の利活用を促進するため、その周知を行い普及を加速するとともに、利用上の課題の継続的把握や国際展開に向けた検討も行う。(短期、中期) (経済産業省)
- ・ 情報信託機能の認定スキームに関する指針の運用の推進や官民が連携した実証実験の実施等による情報銀行の実装の検討、我が国におけるデータポータビリティの在り方等に関する検討を継続する。(短期、中期) (内閣官房、総務省、経済産業省)
- ・ 保健医療データを連結し、迅速・円滑に利用可能な仕組みの構築に向け、データ利活用推進のための必要な措置を講ずる。(短期、中期) (内閣官房、厚生労働省)
- ・ 技術やサービスの動向、海外の知財制度の動向の定点観測の実施と、それを踏まえたさらなる法整備等の必要性の検討。特に、学習用データ、AI プログラム、学習済モデル、AI 生成物について、技術やサービス等の変化に伴う知財制度の在り方を継続的に検討する。(短期、中期) (関係府省)

(2) これまでの委員会、有識者ヒアリングにおける主な意見及び本会合での論点

《これまでの委員会、有識者ヒアリングでの主な意見》

- ・ GAF A等のプラットフォームが台頭する中、GDPRやデータセキュリティーの議論がグローバルに起きている。そういった観点について、知財推進計画では触れていないが、日本として、どう対応していくか議論が必要ではないか。
- ・ 医療ビッグデータに関して、海外では標準化に向けた動きが見えており、その動きをある程度追いかけて政策に反映すべきではないか。
- ・ 個人情報保護というのは大前提とした上で、社会をよりよくするために、データの越境といったところの国際的な連携をしっかりと進めていただきたい。
- ・ 知財戦略本部では、これまで、新たな情報財としてデータを取り上げてきたので、今後も、データポータビリティの論点を含めたデータに関する検討を行っていただきたい。
- ・ 国際情勢を踏まえると、データについては、その保護だけではなく、流通促進という流れがある。
- ・ デジタルイノベーションが急激に進行する中、公正かつ自由な競争がグローバルに展開される世界を構築するためには、いわゆる data free flow with trust の原則に基づき、国際的にハーモナイズする法律あるいはシステムの設計を進めることが重要。

《本会合での論点の例》

- ・ データの適切な保護と円滑な利活用のバランスを取りながら、新たな価値を創出するために、国際的な枠組みを通じた働きかけを含め、取り組むべきことは何か。
- ・ ヘルスケア分野等の個別分野におけるデータの利活用促進に向けて、取り組むべき事項は何か。

2. AI の知財戦略強化

(1) 知財計画 2018 に掲載の主な関連施策

- ・ 「データの利用権限に関する契約ガイドライン ver1.0」を全面改訂し、データに関する契約の深掘りのほか、新たに AI の開発・利用を巡る契約の考え方について整理を行う。また、改訂されたガイドラインについて、契約当事者間での活用についてはデータ・AI の利活用を促進するため、その周知を行い普及を加速するとともに、利用上の課題の継続的把握や国際展開に向けた検討も行う。(短期、中期) (経済産業省)
- ・ 技術やサービスの動向、海外の知財制度の動向の定点観測の実施と、それを踏まえたさらなる法整備等の必要性の検討。特に、学習用データ、AI プログラム、学習済モデル、AI 生成物について、技術やサービス等の変化に伴う知財制度の在り方を継続的に検討する。(短期、中期) (関係府省)

(2) これまでの委員会、有識者ヒアリングにおける主な意見及び本会合での論点

- ・ 本会合において有識者発表・議論を予定

3. クールジャパン戦略の持続的強化

(1) 知財計画 2018 に掲載の主な関連施策

- ・ クールジャパン人材育成検討会最終とりまとめ（2018年3月）に基づき、クールジャパン人材の育成に資する専門職大学制度の運用、外国人材の活用・集積に向けた制度面での取組や外国人材受入れに係る産学官の地域レベル・国レベルでの情報共有等の協力体制構築、海外における日本語の普及、地域の魅力を発掘・磨き上げ・海外に展開できる人材の育成、最近の産業ニーズに対応した専門人材の育成に資する取組を推進する。（短期、中期）（内閣府、関係府省）
- ・ 地方による都市のシーズや人材、あるいは外国のインフルエンサーの活用などの手法やノウハウ等を踏まえ、地方版クールジャパン推進会議において、地域のさまざまな魅力を一体的に発信・展開していく方策などを議論していくとともに、地域の課題解決方策などを具体的に議論する地域セミナーをより効果的に実施していく。（短期、中期）（内閣府）
- ・ ストーリーやコンテクストについては、地域文化や歴史上の背景等から語る、あるいは日本固有の表現から語るなど、効果的な方法を具体的に見いだし、クールジャパン官民連携プラットフォームの活動なども活かし、クールジャパンの付加価値向上に活かしていく。例えば、知的財産戦略推進事務局で委託、作成した「日本語り抄」等が参考となる。（短期、中期）（内閣府、関係府省）
- ・ 国別、属性別のクールジャパン分野への嗜好や市場性などの違いについて、分析する。例えば、知的財産戦略推進事務局で行った委託調査「クールジャパン海外展開のための国別調査」や「クールジャパンの再生産のための外国人意識調査」等も参考にしつつ、分析を更に深め、官民における活用を促していく。（短期、中期）（内閣府、関係府省）

(2) これまでの委員会、有識者ヒアリングにおける主な意見及び本会合での論点

《これまでの委員会、有識者ヒアリングでの主な意見》

- ・ クールジャパンが本当に効果をあらわしてきたフェーズになってきたと思うが、ロングテールで言うと、テール部分に入ってきているのではないかというような印象も受けている。当然、強く活性化を促すような新しいポリシーなり、方策なりが、2020年から2025年の5年間に向けて必要なのではないか。

《本会合での論点の例》

- ・ 上記の意見を踏まえ、クールジャパンで今後取り組むべきことは何か

以上